あしぎんマーケットニュース

2026年11月11日

10月米CPIは、市場予想を上回る前月比0．4%上昇！

＜結果概要＞

・2026年10月米CPI（消費者物価指数）は、前月比では+0.4%(9月:+0.6%)と伸びは縮小したものの、市場予想を0.1%上回った。また、変動の大きい食品とエネルギーを除くコアCPIは、同+0.3%(9月:+0.3%)と前月と同水準となった。なお、前年同月比については、米政府機関閉鎖に伴い、2025年10月分の物価データの収集ができなかったことから公表されなかった。
・CPI(総合、前月比)の寄与度別内訳では、エネルギー価格が+0.053%と前月の+0.377%から伸びが縮小し、物価全体の伸びを抑えた。一方、コアサービスについては、住居費の上昇が前月比で鈍化したものの、レクリエーションサービスや輸送サービスなど幅広い項目に上昇圧力がみられた。食品については、輸送コストの上昇を転嫁する動きがみられたほか、コア財については前月比で伸び幅は縮小したもののインフレ圧力の根強さが示された。

（単位：%）

	10月分	市場予想(10月分)	9月分
CPI（前月比）	0.4	0.3	0.6
CPI（前年同月比）	–	–	3.7
コアCPI（前月比）	0.3	0.2	0.3
コアCPI（前年同月比）	–	–	2.6

＜寄与度別内訳（前月比）＞

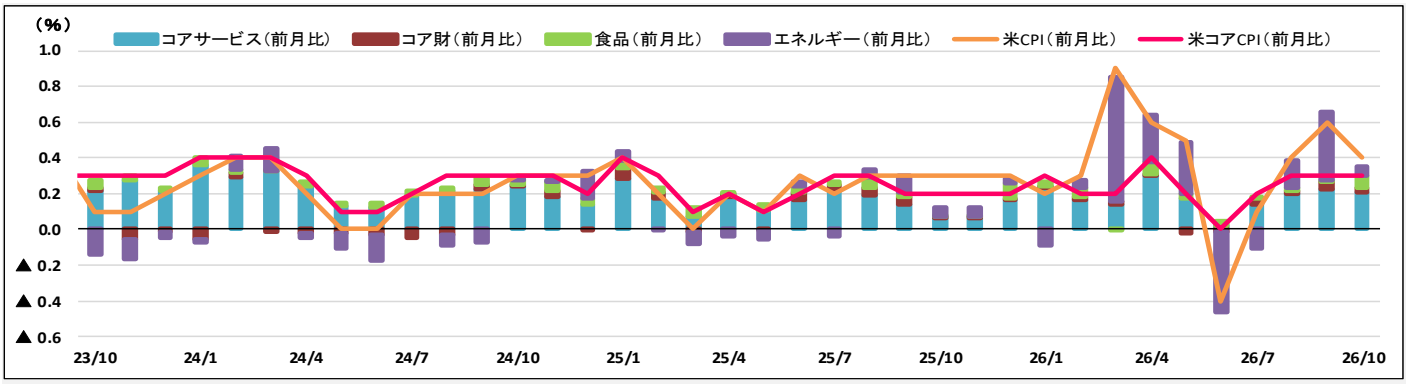
（単位：%）

主な項目	10月分	9月分
全項目	0.352	0.652
コアサービス	0.205	0.221
コア財	0.030	0.048
食品	0.064	0.006
エネルギー	0.053	0.377

（単位：%）

コアサービス内訳	10月分	9月分
住居費	0.108	0.138
保険医療サービス	0.021	0.019
輸送サービス	0.053	0.037
教育・通信サービス	0.002	0.002
レクリエーションサービス	0.027	0.009
その他個人サービス	0.001	0.006
水道・下水・ごみ収集サービス	0.007	0.003

＜CPIチャート＞



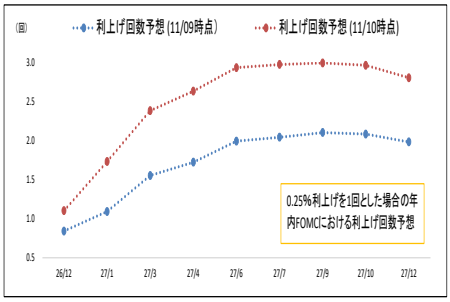
出所：米労働統計局、Bloombergより足利銀行資金証券部作成

＜今回のポイント＞

・CPI公表前に、ウォラーFRB理事は、10月のコアCPIが前月比で0.3%前後あるいはそれ以上に上昇した場合、より強力な政策措置が必要になる可能性があると述べた。その場合は、政策金利を0.5%引き上げることも検討すべきとし、物価上昇圧力の動向を懸念する発言をしていた。
・今回のCPIは、エネルギー価格の上昇鈍化を背景に総合指数の伸びが縮小したものの、幅広い項目でインフレの高止まりが確認され、コアCPIは前月比で0.3%の上昇となった。総合・コアともに市場予想を上回り、インフレ圧力の根強さが示された。
・ウォラーFRB理事の発言やCPIの結果を受けて、12月追加利上げ観測は高まり、FF金利先物市場における年内の利上げ回数予想はCPI公表前の0.84回（1回あたり0.25%換算）から公表後は1.10回へ増加し、小幅ながら0.5%利上げの可能性も織り込んだ。

＜市場動向＞

	11月10日	11月9日	前日比
ドル／円相場（円）	158.75	157.91	0.84
ダウ平均株価(ドル)	52,231.89	52,389.75	▲ 157.86
S&P500(ポイント)	7,520.93	7,549.94	▲ 29.01
NASDAQ(ポイント)	25,065.87	25,253.14	▲ 187.27
米2年国債利回り（%）	4.74	4.56	0.18
米10年国債利回り（%）	4.99	4.88	0.11



※本資料は情報提供を目的として作成した参考資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることもあります。本資料は信頼できると考えられるデータに基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料は証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではなく、将来の市場環境等を保証するものではありません。

足利銀行